

やすらぎ いきいき 輝く街 ふっさ

福生の教育

◆発行
 福生市教育委員会
 〒197-0005
 福生市北田園2-9-1
 (中央体育館内)
 電話 552-7711
 FAX552-2622

◆編集
 学校教育部庶務課

創刊号 平成15年5月1日発行

平成15年度 福生市教育委員会 教育目標 基本方針

◆教育目標◆

福生市教育委員会は、子どもたちが、知性・感性・道徳心や体力をはぐくみ、人間性豊かな人間として成長することを願い、人権尊重の精神を基調として、思いやりと規範意識のある人間、社会・地域の一員として貢献しようとする人間、個性と創造力豊かな人間、国際社会の信頼と尊敬を得る人間を育成する教育を推進する。

また、生涯学習を振興し、市民のだれもがあらゆる場で学び続けることのできる社会の実現を図る。

教育は、学校・家庭・地域の三者が互いに手を携えて責任を果たしてこそ、その成果があるものとの認識に立って、すべての市民が参加する教育を目指す。

◆基本方針◆

福生市教育委員会は、「教育目標」を達成するために、次の「基本方針」に基づき、創意ある教育施策を総合的に推進する。

【基本方針1】

「人権尊重の精神」と「社会貢献の精神」の育成

①人権教育を学校、社会教育等を通じて効果的に進める。特に、男女共同参画教育の積極的推進を行う。

②家庭や地域と連携して社会体験・奉仕活動や文化・スポーツ活動など体験的な活動を中心とした教育を推進する。

③学校・家庭・地域の連携のもとに、「心とからだの健康づくり」を推進する。

④学校及び教育相談室の機能整備・充実、また、児童・生徒の健全育成について、指導方針・体制を確立する。

【基本方針2】

「豊かな個性」と「創造力」の伸長

①独創性や才能を伸ばす、多様な教育手法や制度を導入・拡充する。

また、特色ある教育課程の編成や指導法の工夫・改善を進める。

②少人数学習集団の編成や教科の選択幅の拡大等、個性に合った多様な教育を推進する。

③職場体験、就業体験等により、勤労観・職業観をはぐくみ、進路希望に応じた教育を充実する。

④心身障害教育の充実、また、個別の指導計画に基づいた指導を徹底する。

⑤多様な文化に対する理解を

深め、世界の中の日本人としてのアイデンティティを育てる教育を推進する。

特に、中学校には、英語教育指導員体制の充実、小学校には、英語活動の積極的導入を図る。

【基本方針3】

「生涯学習」と「文化・スポーツ」の振興

①市民の多様な学習要求に応え、また、完全学校週5日制を踏まえ、生涯学習の振興を図る。

②地域に根ざした社会教育活動の展開と生涯学習関連機関との連携、交流の場や情報の提供を行い、また、社会教育施設の整備・充実を図る。

③市民が文化活動などに参加

創刊にあたって



福生市教育委員会
委員 前原 照美

教育は今、国をあげて大きな変革の時代を迎えています。特に、学校現場では昨年、学校週5日制、新学習指導要領が完全実施となりました。そのねらいは子どもに「ゆとり」の中で基礎学力、心の豊かさ、生きる力を育成していこうとするものです。

できる機会の提供と文化施設の維持・管理、充実・活用を図る。

④市の文化遺産や歴史的環境資料の保存・活用を図る。

⑤市民の健康づくりのため、体育施設やスポーツ教室の充実を図るとともに、活動組織づくりや指導者養成の支援に努める。

また、市民が生涯を通じてスポーツ、レクリエーション活動に親しむよう、各種事業の充実をめるとともに、自然を生かした活動の機会や場を提供する。

【基本方針4】

「市民の教育参加」と「学校経営の改革」の推進

①学校評議員制度の活用等、

市内各校は、平成15年度、改革2年目を迎え、教育課程を再編成し目標達成へ向けて努力を重ねているところです。

しかし、これからの教育は学校だけで完結できるものではありません。特に、「心の豊かさ」「生きる力」の育成には、自然体験、社会体験等が不可欠であり家庭と地域の力がどうしても要求されます。

昨年、道徳授業地区公開講座も市内各校で実施され、「総合的な学習の時間」も地域のご協力に負うところが大きくなりました。

福生市教育委員会の教育目標、基本方針にも示すとおり、

保護者や地域住民の教育への参画を求め、開かれた学校づくりを進める。特に、道徳授業地区公開講座や学校の教育活動を積極的に公開する。

②学校教育の改善に対する自律的取組を進めるため、校長のリーダーシップの確立、主幹の活用を図り組織的な課題対応能力の向上を図る。

③教員のライフステージに応じた、新しい研修体系に即した教員研修の充実を図る。

④「福生市地域まなびあいボランティア」制度等、学校外の人材を活用し、地域社会との連携を図り、学校運営方法を改善していく。

⑤学校施設や市の施設の効率的な活用を図る。

福生の子どもは思いやりがあり、美しいと感じる心豊かで社会貢献のできる日本人、国際社会で信頼される日本人に育ってほしいと願っています。

同時に教育委員会は、大人も子どもも、より豊かな生活ができるように生涯学習社会の実現に努めているところです。

地域が一体となって子ども

の教育を考えるために、また

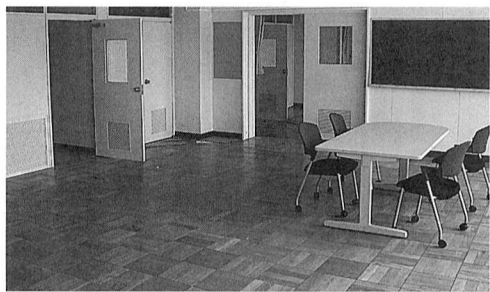
教育行政全般を市民の皆様にもご理解をいただくために「福生の教育」を発刊することとなりました。

ここに、創刊号をお届けし、

一層のご理解とご協力をお願いいたします。

通級指導学級が開設されました

第六小学校に、情緒面に課題のある児童のため、特別な指導を行う通級指導学級（情緒障害）が開設されました。この学級では、今の学校（通常の学級）にそのまま通いながら、決まった曜日・時間だけ通級し、児童一人ひとりの目標にそった特別な指導を受けることができます。



通級指導学級教室



第六小学校風景

「主幹」誕生!!

4月1日から福生市の小中学校に先生のリーダー「主幹」が誕生しました。

現在、学校には学力向上や不登校をはじめとした様々な教育課題の解決や、保護者や地域の皆さんからの要望への積極的な対応など、大きな期待が寄せられています。これらの期待に応え、子どもたちが生き生きと楽しく学ぶことのできる学校づくりを進めるために、福生市の小中学校に先生のリーダーとなる先生を新しく「主幹」として配置しました。

②調整③人材育成④教頭の補佐などの役割を担います。「主幹」の先生が誕生したことにより、学校は校長を中心としてより一層組織的に機能し、子どもの教育環境を向上させ、より質の高い教育サービスを提供することができるようになります。例えば、次のようなことが期待できます。

①「主幹」の先生が、子どもたちの学習の状況を組織としての確に把握し、学校全体で子ども達の資質や能力に応じた教育指導を行い、学力を向上させることができます。②子ども達の生活指導や進路指導、健康安全の指導などについて、「主幹」の先生が学校の方針や対応を教職員共通のものとする事で、問題が起きたときも、学校全体の問題としてとらえ、組織的に解決していくことができます。③保護者のみなさんからの相談や、学校に寄せられる苦情や要望に、個々の状況をよく知っている「主幹」の先生が加わることで、質の高い問題解決や客観的な対応が一層可能となります。

としての仕事が円滑に推進できるような配置に変わっているはず。机の大きさも先生方のリーダーとしてふさわしいように教頭先生と同じものとなっております。これからは学校へのご意見やご要望を教頭先生だけでなく、遠慮なく「主幹」の先生にお話ください。何か問題が起ったときや、ご相談をいただいたときに、責任のある適切な対応により、一層、円滑な解決を図ってまいります。

どうぞ、「主幹」の先生の活躍にご期待ください!!

第一中学校にランチルームを開設

平成15年度に工事を行ない、平成16年4月から実施の予定で作業中です。

平成15年度 福生市公立学校管理職人事異動 (平成15年4月1日付)

転入者《敬称略》

Table with 3 columns: 新任校, 氏名, 前任校. Rows include 福生第六小学校 (昇任), 福生第一中学校 (転任), 福生第二中学校 (転任).

校長

Table with 3 columns: 新任校, 氏名, 前任校. Rows include 福生第一小学校 (転任), 福生第五小学校 (昇任), 福生第三中学校 (転任).

教頭

Table with 3 columns: 新任校, 氏名, 前任校. Rows include 福生第一小学校 (転任), 福生第五小学校 (昇任), 福生第三中学校 (転任).

校長

Table with 3 columns: 新任校, 氏名, 前任校. Rows include 武蔵村山市立第八小学校 (昇任), 立川市立西砂小学校 (転任), 日野市立三沢中学校 (転任), 東大和市立第三中学校 (転任).

教頭

Table with 3 columns: 新任校, 氏名, 前任校. Rows include 八王子市立大和田小学校 (転任), 東大和市立第一中学校 (転任).

校長・教頭の人事異動

- 小・中学校 パソコンコンピュタ整備
● 第五小学校 校便所改良工事
● 第一中学校 ランチルーム 整備工事
● 西側校舎トイレ男女各4か所をきれいに改修します。
● 第一中学校 ランチルーム 策として、平成16年度から実施するため、一中の裏側にランチルームを造ります。
● 小・中学校 パソコンコンピュタ整備
● 小学校 授業指導補助員の拡充
● 中央図書館等に自動ドア

平成15年度 教育予算の重点事業

○学校教育
● 「教育委員会だより」の発行
● 第五小学校 校便所改良工事
● 第一中学校 ランチルーム 整備工事

○生涯学習
● 社会教育施設等の開館日の拡大
● 中央図書館等に自動ドア

社会教育事業の概要

市民の皆さんが人間性豊かに、明るく生活していくために、様々な学習（スポーツ及びレクリエーションを含む）活動の機会を保障し、奨励・援助するための条件整備を進めていきます。日常生活を通じて学びあい、互いに連帯することによって、充実した市民生活を送り、豊かな地域社会を築きましょう。

平成15年度の社会教育事業として次のような活動を行いますので、多くの市民の皆さんの参加をお待ちしています。

社会教育活動

学習環境の整備、奨励・援助及び社会教育活動の充実を図ります。

- 市民文化祭
- 成人式
- 地域まなびあいボランティア事業

青少年活動

青少年の自ら伸びようとする意欲を、家庭、学校、職場そして地域社会が一体となつてはぐくんでいくことが大切です。今年も青少年を海外に派遣し、外国との友好親善と相互理解を深め、国際的視野をもつた青少年の育成に努めます。

- 家庭の日の推進事業
- 自然観察会
- 青少年意見発表大会
- 青少年海外派遣事業



ゴールデンゲートブリッジにて
(平成14年7月22日)

文化財保護活動

長い歴史と風土の中で、今日に受け継がれてきた貴重な文化遺産、文化財が身近にあることは、市民の誇りです。文化財は変化の激しい現代の

社会生活の中で、私たちが生活を振り返り、新たな情報や活力を得るうえで重要な存在となっております。

そのために文化財、歴史的環境を積極的に保護し、活用します。

- 文化財の登録と指定
- 市文化財総合調査
- 民具調査、古文書調査など
- 「報告書第32集（民具）」の発行準備

- 市登録無形民俗文化財映像の普及、放映
- 郷土資料室展示活動
- 特別展「仮称 森田文庫 文芸資料（寺子屋と教科書展）」
- 企画展「蜀山人 多摩を行く」平和のための戦争資料展「江戸の刀剣展」「ミキノクチと正月飾り展」
- 学習会活動
- 史跡学習会、郷土学習会など
- 市史の普及と情報提供
- 「市史」を読む会、史跡見学会、収集資料の提供など

体育活動

市民の健康づくりとスポーツを振興するために、生涯スポーツの普及を重点的な目標とし、施設の整備充実と援助、奨励を図ります。

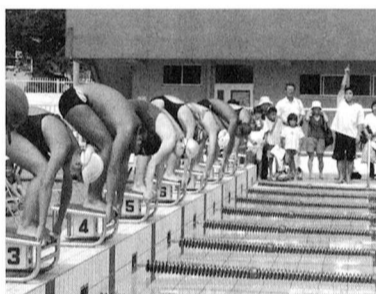
- ◇ 主催事業
- 健康づくり、仲間との交流などのきっかけのために、スポーツ教室（初心者等対象）を実施
- ▽ テニス教室、水泳教室、カ

ヌー教室、ゴルフ教室など日ごろの練習成果の発表、地域交流のために行う大会や行事の開催

- ▽ 平成15年度市民総合体育大会、ウォークラリー大会、ハイキングなど
- 各種大会などへの選手、役員への派遣
- ▽ 第56回都民体育大会
- ▽ 第37回東京都町村総合体育大会

▽ 都民スポーツ・レクリエーションふれあい大会

- ▽ 都民生涯スポーツ大会
- ▽ 第13回西多摩地域広域行政圏体育大会
- ※その他、各種団体、地域の大会及び運動会の後援、援助を行います。



市民総合体育大会 水泳競技

体育館活動

市内の各体育館では、市民の皆さんが生涯にわたり、身近な場所でスポーツを楽しむために、専門的な立場で個々の目的や年齢・体力に応じた各種の事業を開催します。

- ◇ 福生地域体育館事業
- スポーツ教室（幼児からお

すので、最寄りの体育館へお気軽にご相談ください。

- ◇ 中央体育館事業
- スポーツ教室（幼児からお年寄りまでの各種教室）
- 5コース（年間前・中・後期）
- 体力スポーツ相談（健康相談・体力測定及び運動処方
- 大会・行事（ウォーキング大会の開催

■ 開放事業（ヘルシーエクササイズ、いきいきエクササイズなどを毎月実施

- 一流スポーツ観戦事業（国際及び全日本レベルの一流スポーツを市民の皆さんが身近で観戦できる事業を実施
- ※その他各種団体のスポーツ・レクリエーション大会、行事に対しての指導・支援
- ◇ 熊川地域体育館事業
- スポーツ教室（幼児からお年寄りまでの各種教室）
- 4コース（年間前・中・後期）
- 体力スポーツ相談（健康相談、体力測定及び運動処方
- 講座・講習会（バドミントン、卓球、ヒップホップダンス、スポーツマン講座など
- 大会・行事（春と秋のスポーツフェア、障害者の運動会など
- 開放事業（エアロビクス、ビーチボール、インディアカなどを毎週実施
- 個人開放を中心に運営を行う。

年寄りまでの各種教室）

- 13コース（年間前・中・後期）
- トレーニング室（専任トレーナーによる体力測定及び相談、またビギナー講習会、ペーストレーニングタイム、ストレッチタイムなどを常時実施
- 大会・行事（スポーツフェスティバル、障害者の運動会など

個人開放を中心に運営を行う



第28回 みんなの運動会

図書館活動

乳幼児から高齢者まで自由に利用できます。本や雑誌だけでなく、CD・カセット、ビデオなどを用意しています。調べものに利用できるインターネット用パソコンを中央図書館に2台、各分館に1台ずつ設置してあります。

- 小・中学校の総合的な学習や調べ学習に関して学校との協力を引き続き行います。
- 子どもたちが本に親しめるよう、ボランティアの方々との協力して進めていきます。
- 昨年10月から開始した西多

摩各市町村との相互利用も、徐々に利用拡大がされてきているため、このことを踏まえ、資料の充実に努めていきます。

- ▽ 講演会（年2回）
- ▽ お話し会（通年毎週1回）
- （武蔵野台は月1回）
- ▽ 子どもお楽しみ会（ボランティア団体との共催で実施

市民会館公民館活動

- 大ホール
- ▽ コンサート等の開催
- 小ホール
- ▽ 市民名画劇場年11回開催
- 学級・講座・教室
- ▽ 幼児対象（保育室事業）
- ▽ 青少年対象（自然体験・工作・クッキング・草笛など
- ▽ 女性対象（女性問題・保育室併設講座など
- ▽ 成人一般（人権・環境・福祉・文化教室・俳句・古典文学・音楽鑑賞・陶芸・ハイキング・パソコン講座など
- ▽ 高齢者対象（寿市民ひろば（3館で実施）仲間と生きがいづくり
- ▽ 障害者対象
- 「にじのはらっぱ」仲間づくりと自立を目指します。
- リーダー研修・実行委員会
- ▽ レクリエーションリーダー講習会・公民館のつどい実行委員会など
- つどい・行事など
- ▽ 公民館のつどい・公民館まつり（各館で実施）・女と男のフォーラム講演など

福生第一小学校

教育目標

心身ともにたくましく、心豊かな児童を育成するために次の目標を設定しております。

- ・心豊かな子ども（重点）
- ・考えを深める子ども
- ・進んで体をきたえる子ども
- ・物事をやりとげる子ども

この目標を達成するための具体的方策を持ち実践して行きます。

学校の特徴

○心身障害学級「ひまわり学級」を併設しています。

「ひまわり学級」は、兄弟学級を持ち遠足や給食、授業



元気に運動する子どもたち（第一小学校）

等と一緒にいる等の交流をしています。この活動を通してお互いを理解し合える心の育成をはかっています。

福生第一中学校

○日本語学級を併設している福生市内で唯一の学校です。外国籍児童が多く通っています。二学級編成になっています。これら児童の日本語指導、学習支援、心のケア等をおこないます。様々な国から来ている子を通して国際交流の機会を作っています。

第一中学校は青梅線から見える、校庭の中央付近に松林万坪あり、自然環境に恵まれています。

○学校で行う行事を大切にしている学校です。行事を体験した児童の心の成長はすばらしいものがあるからです。

一中の一日は元気のよい部活動の生徒の朝練習から始まります。松林の周囲を走る生徒たちの姿はさつそうとしています。登校時間には教員も全員早目に教室や玄関に行き、あいさつを交わしたり、生徒たちに声をかけています。「さすががしいあいさつをしよう」

学校紹介

○1年生から6年生まで

の縦割り班の活動を取り入れています。この事から高学年児童が低学年児童の面倒をよく見たり、学校のために働く高学年児童に育っています。

○明るく、元気で、楽しく、なかよくを子どもたちの合言葉にして毎日を過ごしていきます。

意した本を、10分間読みます。静かに心を落ち着けて1校時を始める準備の時間です。わずか10分ですが継続することによってだいたい読む力もついてきました。

さて、総合的な学習の時間ではNIE (Newspaper In Education) を主体に行っています。自分の興味、関心を持った新聞記事を切り抜いてノートに感想を書く、「集塵成山」と

いうスクラップノートを作ることから始めています。その後、新聞記者の方を招いて、時事問題について意見交換を行ったり、新聞写真を見て、短歌を作る等の取り組みを行っています。それによって、自分の考えや意見をしっかりと持てる生徒が増えました。最後に、総合的な学習の時間のまとめとして全校主張大会を行いました。堂々と考えや思いを表現することができ、NIEの成果を実感できました。また、外国人を招いて交流を行う取り組みも行っています。昨年度は、台湾、スリランカ、韓国、アメリカ、フィリピンの方々をお招きしました。



第一中学校風景

一中は、PTA活動も盛んで、保護者の方も学校に協力的です。生徒と一緒に落葉掃きを行い、花壇に球根を植え、環境美化に協力していただき、健全育成の面でも協力をいただいています。「すべては生徒のために」というのが、PTAのスローガンです。

社会教育委員の改選がありました。

社会教育委員は、教育委員会に助言するため、社会教育に関する諸計画を立案すること。教育委員会からの諮問に応じて意見を述べること。必要な研究調査を行うこととされています。委員は10名で、任期は2年です。

《敬称略》

小林 総一（学校教育関係者）
井上 寅吉（社会教育関係者）
中本 勇（社会教育関係者）
佐藤 正明（社会教育関係者）
澤田理恵子（社会教育関係者）
柴藤寿恵子（学識経験者）
清水 雅則（学識経験者）
日野さよ子（学識経験者）
大野 祥江（学識経験者）
村山 利夫（学識経験者）

公民館運営審議会委員の改選がありました。

公民館運営審議会委員は、市民の声を公民館に反映させるため公民館の運営にとっても大きな役割を果たしている審議会です。その仕事は、公民館のあらゆることについて、公民館から意見を求められ、それについて調査、審議することになっています。委員は10名で、任期は2年です。

《敬称略》

本村 誠（学校教育関係者）
田中 加代（社会教育関係者）
有井 節子（社会教育関係者）
佐々木京子（社会教育関係者）

上田 勝三（社会教育関係者）
平澤 美治（社会教育関係者）
大杉 浩司（社会教育関係者）
嶋瀬 幸夫（社会教育関係者）
朝岡 幸彦（学識経験者）
高水 清安（学識経験者）

教育委員会の動き

平成15年第3回教育委員会定例会（3月27日）で、次の事案について審議されました。

■議案

- 福生市社会教育委員の委嘱について
- 福生市公民館運営審議会委員の委嘱について
- 福生市教育委員会事務局庶務規則の一部を改正する規則について
- 福生市立学校施設設備使用条例施行規則の一部を改正する規則について
- 福生市体育施設条例施行規則の一部を改正する規則について
- 福生市体育館条例施行規則の一部を改正する規則について
- 福生市公民館条例施行規則の一部を改正する規則について
- 福生市教育委員会交際費支出基準の制定について
- 福生市立図書館資料宅配貸出事業実施要綱の一部改正について
- 教育財産の処分について

■報告事項

○福生市プチギャラリー条例施行規則の一部を改正する規則について
その他3件の報告がありました。

教育委員会定例会予定

・5月23日（金）午前10時
・6月27日（金）午前10時
開催場所：教育委員会会議室
問合せ
教育委員会庶務課庶務係

編集・後記

福生市教育委員会の教育広報「福生の教育」が、創刊号として、発行することになりました。

各市から送られてくる教育広報を見るとアイデアを凝らし、情報を分かりやすく、また、親しみやすく掲載している内容に驚嘆していました。教育広報として、第一歩を踏み出したところですが、これから、発行を重ねることに「見やすい」そして、「内容の充実した」教育情報を市民の皆様へ伝えていきたいと考えています。

創刊号として5月に発行いたしました。皆様のご意見をいただきながら、今年度は、2号を9月に、3号を来年1月に年3回予定をしています。市民の皆様のご愛読をお願いいたします。